

燦々

SANSAN
光り輝く



特集 水稻種子農薬使わずに消毒
環境にやさしく食の安全・安心に向けて

むかわ町穂別でメロン定植始まる。

JAとまこまい広域広報誌
燦々光り輝く
No.268



編集・発行

〒059-1603
JAとまこまい広域本所
TEL 0145-2272241
北海道勇払郡厚真町錦町10番地2
FAX 0145-2273941

令和7年4月10日
ホームページアドレス <http://www.ja-tomakomai.co.jp>
メールアドレス info@ja-tomakomai.co.jp

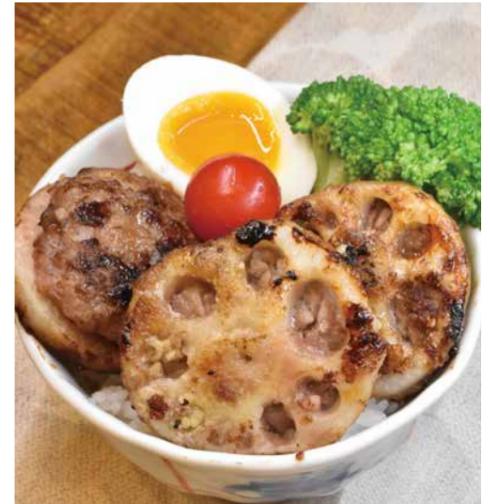
印刷 株式会社須田製版

休日に丁寧に作りたい、栄養たっぷりごほうびレシピ

JAグリーン長野女性部
(長野県)が作りました!

調理時間
30分

ボリューム満点 もちもち♪ レンコンバーグ丼



レンコンのシャキシャキ感とハンバーグのもちもち感を同時に楽しめます♪

材料(4人前)

・米	3合	・片栗粉	大さじ2
・レンコン	300g	・ブロッコリー	適量
・牛豚合いびき肉	250g	・サラダ油	大さじ1
・ショウガ(すりおろし)	1/2片	・ミニトマト	4個
・ネギ(みじん切り)	1/2片	タレの材料	
・塩コショウ	少々	・しょうゆ	大さじ1
・ゆで卵	4個	・みりん	大さじ1
		・砂糖	小さじ1

- 01 レンコンは皮をむき5mmの厚さで8枚に切り、残りはみじん切りにする。ブロッコリーは適当な大きさに切りゆでる。
- 02 ひき肉、塩コショウをこねてねばりが出たら、みじん切りにしたレンコン、ショウガ、ネギをよく混ぜてタネを作る。レンコンと同じ大きさを目安に8等分にわけろ。
- 03 輪切りにしたレンコン両面に片栗粉をつけ、②のタネをのせてレンコンが離れないようになませる。
- 04 フライパンにサラダ油を入れて熱し、③のレンコン側を下にして並べふたをし、中火で3分ほど焼く。
- 05 ふたを取り、混ぜ合わせたタレを入れ、汁気がなくなるまで両面かえしながら煮詰める。最後にごはんを盛り、出来上がった具材とカットしたゆで卵、ミニトマトをのせたら完成!



ワンポイント!

③でレンコンとタネが離れないように、よくなじませましょう。レンコンは火が通りやすいので、短時間で調理できます!

燦々

SANSAN
光り輝く

No.268 CONTENTS

- 01 特集 水稻種子農薬使わずに消毒
環境にやさしく食の安全・安心に向けて
- 03 カメラレポート
- 07 JAとまこまい広域青年部
JAとの意見交換会・通常総会開催
- 08 期待の農力 石崎真平さん
- 09 理事会報告
- 10 ・大型連休の営業について
・職員異動
- 11 ワンポイント営農情報
- 12 あくり講座
- 13 JAからのお知らせ
- 14 ・JAグループ北海道の農政活動強化に向けて
第6回「東野ひでき北海道後援会の活動経過」について
・JA資格試験合格者発表

裏表紙 休日丁寧に作りたい、栄養たっぷりごほうびレシピ



むかわ町穂別の石崎憲一さんの圃場で、息子の直也さんがメロンの苗を植えている様子。



▲種もみの浸漬処理を行う様子



▲温湯消毒後、脱水機にかける前に水切りする様子



水稻種子農薬使わずに消毒 環境にやさしく食の安全・安心に向けて

▲乾燥を均一にするため、表と裏を入れ替える作業

JAとまこまい広域は2月12日、厚真町上野地区にあるJA施設で水稻種子の温湯消毒作業を開始した。

水稻種子温湯消毒とは

水稻種子の温湯消毒とは、60℃のお湯に種籾を浸漬させ種子の伝染性障害の消毒を行う方法を言い、カビやいもち病、苗立枯細菌病等、農薬を使用せず発生を抑制ができることや、廃液処理も不要のため農薬コストの削減や環境負荷への低減に繋がっている。また長年農薬を使い続けると薬剤抵抗性が増し農薬が効かなくなるリスクがあることから、JAとまこまい広域では、2010年から食の「安心」「安全」の観点から温湯消毒を取り入れている。

昨年からの今年にかけて、令和の米騒動で米の価格が高騰。安定供給の観点からも収量を確保するためにも期待が寄せられる。

温湯消毒の作業工程

作業の工程は、十分に乾燥した種子をネット袋(1袋/5kg)に分け、10分間60℃の温湯で浸漬処理を行った後、冷水で冷却。脱水機で余分な水分を取り除き、ラック(1ラック/約72袋)へ並べ約1日乾燥庫へ入れる。職員ら7名体制で日量3,600kg(720袋)の消毒を行う。ネット袋の天地返しを行うなど乾燥ムラ防止対策やラック毎に水分量の検査が行われるほか、発芽試験も実施される。3月下旬の消毒終了後に順次水稻農家の下へ引き渡される予定だ。

熱処理温度は様々だが、65℃以上での消毒は種子に影響を及ぼす可能性があるため、当JAでは60℃に設定し熱処理を行っている。

不測の事態に備えて

温湯への浸漬が長すぎると発芽不良となるため、ロットごとに発芽試験を実施する他、出荷後でも追跡を可能にするため、ネット袋ごとにロット番号札を入れトレーサビリティへの対応も図っている。

今年、「ななつぼし」や「ゆめぴりか」を中心に昨年よりも多い約90,000kgを消毒予定。

温湯消毒責任者は「米の価格も高騰する中、まずは生産者が安定した収量を確保できるお手伝いができれば」と思い業務に当たっています。また水稻種子は温湯消毒後、ばか苗病をはじめとする種子伝染病害を防ぐために無菌状態となっているため、生産者の皆さんには細心の注意を払って保管して頂きたいと話した。

地域話題をパチリと

広域

広域産米販売拡大に向け店頭販売実施
神奈川県(株)たまやで
「ななつぼし」を販売

JAとまこまい広域は3月8日、神奈川県でスーパーマーケットを展開する(株)たまやで当JA産ななつぼしの販売促進キャンペーンを実施。堀弘幸組合長と浅野真人農産部長が応援に出向き「JAとまこまい広域」のPRを行った。
(株)たまやは、神奈川県内に10店舗を構え「地域愛着」を志向する。地域に根差したスーパーマーケットが所属する協業組織のCGCへも加入するなど、地域に密着した店舗づくりを展開している。同社は、当JA産米の販売を平成22年から始め、今では全農パールライス東日本と



▲抽選会でお客様と交流する堀組合長



▲北海道米アンバサダー横倉綾乃さんと
堀組合長 浅野農産部長



▲株たまや独自パッケージ

連携し独自パッケージで販売。道産米の販売拡大に注力している。
今回応援に駆けつけたのは浜見平店で、当JA産米を含む商品を5,000円以上ご購入したお客様に限り、同日限定で先着50名様までとした抽選会を実施。当JAで味付けしたジンギスカンや、厚真産大豆を使用した「おふくろみそ」、厚真特産のハスカップを使用したゼリ、JA管内で飼育された豚肉を使用したレトルトカレー、カマンベールチーズが手渡された。

白老

農事組合法人白老牛改良センター
第25期 通常総会開催

農事組合法人白老牛改良センター(代表理事・石田拓矢)は3月24日(月)に第25期通常総会をJAとまこまい広域白老支所で開催した。

白老牛改良センターは白老町の和牛生産における課題、とりわけ繁殖から肥育まで手掛ける一貫経営体制への移行および牛群改良の方策といった課題に対処するべく、平成12年に活動を開始した。現在は白老町内の生産者から預託牛を募り、肥育牛の枝肉データを分析し、繁殖雌牛の産肉能力評価や北海道に繋留されている種雄牛のフィールド成績評価を行っている。



▲総会議事進行の様子



▲ジェネティクス北海道武内氏より情報提供

総会冒頭の挨拶で石田組合長は「国際紛争や為替の影響により飼料高が続ぎ、和牛相場の低迷も相まって厳しい状況が続いている。事業達成に向けて皆さんにご協力いただきながら活動していきたい」と述べた。
議事は滞りなく進行し、議案第1号から3号まですべて承認となった。
総会終了後、一般社団法人ジエネティクス北海道の武内氏より新規に選抜された種雄牛の成績報告や肥育牛の早期出荷について情報提供があった。
家畜精液の取り扱い方法や期待の種雄牛、組合員同士の情報交換など大いに盛り上がりを見せ、閉会となった。

広域

第4回フロンティア塾
農業機械メンテナンスや自身の営農を分析
新規就農者などが学ぶ

JAとまこまい広域は3月13日、令和6年度のフロンティア塾を開催し総勢20名を超える生産者や農業研修生らが参加した。フロンティア塾は、新規就農者などの青年農業者が、農業の基礎知識を含め幅広い知識の習得を目的に当JA独自に平成23年から開講している。このフロンティア塾は、昨年の12月から全4回の行程で生まれ、今回最終回を迎えた。
午前の部では当JA購買部燃料機械課の山崎進職員を講師に、農業機械メンテナンスに関する基礎を実際の農業機械を



▲経営分析研修の様子



▲農業機械メンテナンスの様子

前に講習を行った。山崎職員から「メンテナンスは、作業前に行ってください。使用後は機械が熱を持つため危険です。またエンジンは確実に停止してから作業に取り掛かって下さい」と注意喚起した。参加者たちは、興味深々で機械の周りに集まり様々な質問を投げかけていた。
午後の部では、当JA顧問で中小企業診断士の羽賀修平氏を講師に招き、昨年から続く自身の経営を分析できるスキル習得講習会を実施した。最終回となった今回は、自身の経営の自己分析や課題や解決策、また目標などを書き出し事業計画作成の模擬練習を行い、令和6年度フロンティア塾の全行程が終了した。

早来

女性部早来支部行事
料理教室・たんぼぼの会交流会を実施

JAとまこまい広域女性部 早来支部では、例年、農閑期に実施している「料理教室」を2月21日(金)に早来みずほ館で行った。当日は部員8名が参加し、講師である内藤支部長より教わりながら昼食用に五目おこわと中華スープを作り、また、お持ち帰り用として広域産の小麦粉「春よ恋(強力粉)」を使用したあんまん、肉まんを作った。部員達は女性部活動でも作りをしているため包む作業は手慣れた手つきであったという間に終了した。出来上がったあんまん、肉まんはもちもちとした食感に仕上がっており、昼食を食べながら、会話に花を咲かせていた。

また、3月12日(水)、JAとまこまい広域女性部たんぼぼの会では、交流会を行い部員5名が参加した。
午前中は、刺繍教室を開催し、昨年11月の開催に続き今回で2回目となる。前回は、刺繍デザインキットを使い布を枠にはめて色とりどりの糸で模様を縫い付けた。初めて作業をする部員もおり得意な部員に教わりながら作業



▲料理教室の様子

回、刺繍デザインキットを使い布を枠にはめて色とりどりの糸で模様を縫い付けた。初めて作業をする部員もおり得意な部員に教わりながら作業
に集中していた。今回は、好きな挿絵デザインを選び刺繍作業を行い、出来上がった刺繍作品を額に飾る予定だ。
午後からは、仮面心理学®という講習を受け、部員との繋がりがあある町内在住の方が講師となって実施した。仮面心理学とは、脳の傾向を顔のパーツで推し量る一つの方法論であり、これを理解することで人間関係の不快感を取り除く事に繋がっていく。顔のパーツ一つひとつが長所や短所を示しており、自分や他人の長所や短所を知る事でより良い人間関係を築ける方法だ。部員達は、鏡を使って目の間隔を定規で計り「感情傾向」を学んだ。目の間隔が広いタイプは幅広い視野で見ると、遠くから全体の視野で物事に焦点を当てる事ができ、また目の間隔が狭いタイプは狭い視野で見ると、物事そのものに焦点を当ててみる事ができる傾向にある等、特性を知った。部員は、初めての試みになった仮面心理学の講習を受けて「とても面白かった。家族のパーツを見て接し方を工夫していきたい」と話していた。



▲仮面心理学の様子

地域話題を
パチリと

早来分

2年連続となる合同開催

早来・追分青年部ポウリング大会

3月26日、「青年部早来・追分支部ポウリング大会」(宮本悠輝早来支部長・橋本祥彰追分支部長)が千歳フジボウルにて開催された。

この大会は、これからくる農繁期を一丸となって乗り切ろうと、青年部盟友と盟友家族、青年部OB、農協職員により、忙しくなる前のこの時期に行っており、追分支部で人気の恒例行事となっていた。昨年初めて早来支部と共に実施し、両支部の盟友から「今年度もぜひ一緒に



▲各レーン大いに盛り上がりを見せた

▲始球式の様子



▲集合写真

やりましょー」という声が多かった事から今年度も合同で開催する運びとなり、総勢42名が参加した。大会開始前、橋本追分支部長が「2年連続となるポウリング大会を開催することが出来て嬉しく思います。農作業の繁忙期がすぐそこまで迫っています。本日のポウリング大会が皆さんにとって楽しいと思ってもらえる大会になることを願っております。みなさん入賞目指して頑張ってください」と挨拶した。この大会では個人賞・フービー賞等の景品が用意され、参加者は優勝を目指した熱の入った投球を見せていた。惜しくも入賞を逃した参加者にも参加賞が配られた。大会後は懇親会を開き、大盛況のうち終了した。

厚真

広域イチゴ部会栽培講習会実施
肥料メーカーを講師に招き
知識を深める

JAとまこまい広域イチゴ部会は3月18日、本所の厚真町で肥料メーカー(株)ジャットによる栽培講習会を開催。部員10名が参加した。

近年厚真町の農業研修センターで栽培技術を学び新規就農する際、イチゴの栽培を選択する研修生が多く、7戸まで落ち込んだ部会員も現在は10戸まで回復。少しずつ新規栽培農家が増加傾向にあるため、栽培技術向上のため講習会を開いた。これから数年、年に1戸〜2戸はイチゴ栽培を予定する研修生がおり、まだ増加を見込む。

今回は、大阪にある本社から栽培指導



▲岩男参与による講習会の様子



▲センチュウに感染し発病した葉

室の岩男吉昭参与を講師に招き、土づくりに関する収穫前の管理作業まで講義した。定植前後の灌水方法で収量は増減することから「定植前には土質に合わせて灌水を行うして下さい。また1列定植が終わるたびに灌水し、合わせて3度の灌水が必要です」と説明。また「北海道のイチゴ栽培で怖いのは、1にセンチュウ、2に萎黄病です。でも萎黄病は発病に気づきやすいため対処しやすい。北海道のイチゴ産地は昔から移り変わってきました。その要因として、センチュウの症状の知識がなく、対処できなかったため」と話した。

講習会を終え部会担当者は「このような講習会を通して少しずつ知識を習得し、部会全体で切磋琢磨し増収できる環境を整えていきたいです」と話す。

追分

農作業の軽労化を目的に

追分農業用機械共同利用組合「融雪剤散布受託」

身を刺す寒風を感じる2月27日。追分農業用機械共同利用組合(西島隆行組合長)は、融雪剤散布の受託作業を実施した。当日は作業部会メンバー4名で防散融雪炭カル・ケイカル・フロンを各圃場へ運搬し、クローラートラクターを使用し、フロードキヤスターで散布。天候に恵まれ圃場条件も良く、約13haの面積を半日で作業した。

また、同組合ではクローラートラクターの個人貸出も行っているため、3月の融雪剤散布時期は、受託作業と共にク



▲作業の様子



▲綺麗に散布された融雪剤



▲散布の様子

ローラートラクターの予約が殺到する。今年は降雪量が少なく気温も高いため、例年よりも申込件数は少ないが、今後も農業機械の円滑な共同利用や作業受託による農業機械費の抑制、農作業の軽労化を期待したい。

穂別

ほべつメロン定植作業開始
植えてから根が活着するまでの
温度管理が後々の結果に繋がる

むかわ町穂別地区の特産物「ほべつメロン」の定植作業が始まった。

ほべつメロン生産部会(後藤馨部会長)では、例年6月中旬から8月中旬にかけての出荷を行っており、この時期に定植したものは初セリの対象見込みとなり、これを皮切りに随時定植作業が各生産者のハウスで行われる。

3月13日から定植を開始した部会員の石崎憲一さん(49歳)は「植えてから根が活着するまでの温度管理が後々の結果に繋がる。1週間近く気は抜けない」と重要なポイントを語る。

作付けについては「去年と変わらずに1,500mを計画している。外はまだ



▲定植されたメロンの苗



▲定植作業の様子

寒いが好天に恵まれているため、ハウス内の温度は高く、定植作業は順調だ。苗に大きく成長してもらい、美味しいメロンをたくさん収穫できるように、管理作業を頑張りたい」と話した。石崎さんの加温ハウスでは、苗に必要な温度を確保するために温水が循環するホースを這わせ、被覆資材(ビニール)を4重にもかけ、自動巻き上げ機を導入することで、厳重に温度管理をしている。

さんさんがわ「
期待の農力



「夢が無いと楽しくない、
自分のやりたい作物を作ったらいい」
と父に背中を押された



いし さき しん べい
石崎 真平さん(26歳) むかわ町穂別

平成10年12月12日に旧穂別町(現:むかわ町穂別)で石崎憲一さん、小百合さんの長男として生まれる。

北海道岩見沢農業高等学校を卒業後、帯広畜産大学へ進学、令和3年に就農し、今年で5年目を迎えた。現在は、大学時代から付き合っていた妻の桃香さんとの結婚を機に実家を離れ、近くのアパートで仲睦まじく暮らしている。

就農のきっかけ
真平さんは「両親が、どう上手く農業をやるか、経営をプラスにする意味で、ケンカをする姿も見られるけれども大変な仕事を楽しくやっていた姿に憧れ、中学1年生ぐらいから、農業をやってみようという気持ちがあった。親父からは、継がなくても良いよと言われたが、自分で何でも始めることが出来るし、何にでもなれる農業の自由さに魅力を感じ、決意した」と就農当時に振り返る。

経営内容について
石崎さんの家では、様々な品目を取り扱っているため、それぞれにメインの担当者を決めていた。真平さんは、水稲14ha、南瓜15ha、サツマイモ30a、トウモロコシ100aを担当し、作業計画、施肥管理、収穫・出荷作業等について、思考を巡らせる。

残りのプロット150a、メロン1500m、ほうれん草60a、アスパラ40aは父と弟の直也さんが担当している。「一人で決められない場合は、家族で話し合っていて、ネットにある情報も良そうに見えるけど、地域に合った作業体系を考えたり、それが合わない場合もあるので、父の経験と照らし合わせて、検討することがある。新しいことを始めるときは、話し合いに勢いが増して酒が進む。農業について、真摯に向き合っている家族が自慢」と話してくれた。

青年部について
「すごく居心地が良い。自分が知らない知識や経験を勉強させてもらえる場所。家族外の人と関わることは大切だと思っている。自分は寂しがり屋なので、地域のみんなで頑張るスタイルが好き」と笑って話してくれた。

「青年部活動で、思い出に残っているのは、全部。それぞれにドラマがあって楽しかった。あえて選ぶとすれば、去年12月に開催したクリスマス・スポーツ交流会、子供と運動会をする環境、調理場で活動する環境、普段見ることが無い部員の姿を見られて新鮮だった」と話す。

忙しい中でも、活動に送り出してくれる親には「青年部活動が、これからの人生に意味があると思うので、早く送り出してくれていい。送り出してくれている分、自分も良い活動に出来るように頑張りたい」と思いを募らせる。

挑戦していること
就農当初、父から「夢が無いと楽しくない、自分のやりたい作物を作りたい」と背中を押され、2年前からサツマイモの栽培に取り組んでいる。去年の7月には、焼き芋販売をキッチンカー(芋・imomaru)で開始し、半年が経過した。「始めるときは不安な気持ちもあって、父の言葉を思い出しながら、妻と一緒に頑張っている。認知度を高めるために、SNSを利用して周知、販売方法に配達を追加、新商品の企画など、試行錯誤に取り組む。忙しい日々を過ごしているが、今以上に良い商品を上手く販売できるように考えている最中が一番楽しい」と笑みを浮かべた。

さらに、焼き芋販売をすることがきっかけで、商工会青年部にも所属し、農協青年部との掛け持ち二刀流となり、どちらの活動も100%参加を目指したいと意気込みを見せ、今後の活躍に期待が高まる。

将来に向けて
「目先の目標は、サツマイモ事業の拡大。行く行くは、現状の作物の規模拡大、品質・栽培技術の向上を目指し、機械化を進めることで、作業の省力化も図りたい。父から若いうちから経営を考えた方がいい、30歳頃を目途に経営移譲も考えていると言われたので、今の内に入社も挑戦したい。カボチャの輪作体系を作るため、麦・大豆に挑戦することも視野に入れていく。今後は家族と話し合いながら、みんなで農園を経営していきたい」と話してくれた。

JAとまこまい広域青年部 JAとの意見交換会・通常総会開催

JAとまこまい広域青年部は3月21日、JA常勤役員との意見交換会及び第24回通常総会を厚真本所の会議室で執り行い、総勢45名が参加した。

前段で行われた意見交換会では、部員より事前に取りまとめた質問に対して各部署から回答。特にシカ被害への対策における要望が多く寄せられていた。事前質問以外にも「ゆめびりかの栽培は年々温暖化の影響で低タンパク米を作るのが難しくなっている。今後ゆめびりかを栽培するメリットが少なくなってくるのではないか」など質問が挙がった。

後段の通常総会では、令和6年度の事業報告や令和7年度の事業計画など全7議案が承認された。「次年度事業として高齢化が進む農業界において、青年部としてもより一層後継者対策(婚活事業)に力を入れて頂きたい」と部員から要望が挙げられた。

令和7年度の新部長に厚真地区の末政知和さんが就任し「皆さんの力をお借りしながら、広域青年部事業を取り進めて参りたいと思います。1年間よろしくお願ひします」と挨拶した。

JAから青年部員へ向けて、現在内部で議論する「持続可能なJAとまこまい広域農業の実現に向けて『将来構想(案)』として、JAの課題や役割、5年後の目標に向けた段階的な取組内容の説明が合わせて行われた。

総会終了後には、コロナ後初となるJA常勤役員を招待した懇親会が開かれ、今後のJA運営や農業への不安などそれぞれの立場の想いが交わされ、令和6年度事業が終了した。



▲意見交換会で意見する部員



▲末政新部長の就任あいさつ



▲退任あいさつをする前石田部長



▲懇親会を楽しむ青年部員の様子

大型連休の営業について

支所	部門	4月26日(土)	4月27日(日)	4月28日(月)	4月29日(火) 昭和の日(祝)	4月30日(水)	5月1日(木)	5月2日(金)	5月3日(土) 憲法記念日(祝)	5月4日(日) みどりの日(祝)	5月5日(月) こどもの日(祝)	5月6日(火) 振替休日
全支所	一般	8:30~12:00	休み	8:30~17:00 ^{※1}	休み	8:30~17:00		休み				
	金融共済	休み		9:00~16:00 ^{※2}	休み	9:00~16:00		休み				
	ATM	休み		9:00~18:00	休み	9:00~18:00		休み				
白老	資材	9:00~12:00	休み	9:00~16:00 ^{※3}	休み	9:00~16:00		休み				
早来	資材	8:30~12:00	休み	8:30~17:00	休み	8:30~17:00		8:30~12:00	休み	8:30~15:00	休み	
	スタンド	8:00~18:00	休み	8:00~18:00	8:00~15:00	8:00~18:00		8:00~15:00	休み	8:00~15:00	休み	
追分	資材	8:30~12:00	休み	8:30~17:00	休み	8:30~17:00		8:30~12:00	休み	8:30~15:00	休み	
	スタンド	8:00~18:00	休み	8:00~18:00	8:00~15:00	8:00~18:00		8:00~15:00	休み	8:00~15:00	休み	
厚真	資材	8:30~12:00	休み	8:30~17:00	休み	8:30~17:00		8:30~12:00	休み	8:30~15:00	休み	
	農機	8:30~12:00	休み	8:30~17:00	休み	8:30~17:00		8:30~12:00	休み	8:30~15:00	休み	
	スタンド	8:00~18:00	休み	8:00~18:00	8:00~15:00	8:00~18:00		8:00~15:00	休み	8:00~15:00	休み	
	Aコープ	9:00~18:30	休み	9:00~18:30	9:00~17:00	9:00~18:30		9:00~17:00	休み	9:00~17:00		
上厚真	スタンド	8:00~18:00	休み	8:00~18:00	8:00~15:00	8:00~18:00		8:00~15:00	休み	8:00~15:00	休み	
穂別	資材	8:30~12:00	休み	8:30~17:00	休み	8:30~17:00		8:30~12:00	休み	8:30~15:00	休み	
	農機	8:30~12:00	休み	8:30~17:00	休み	8:30~17:00		8:30~12:00	休み	8:30~15:00	休み	
	スタンド	8:00~18:00	休み	8:00~18:00	8:00~15:00	8:00~18:00		8:00~15:00	休み	8:00~15:00	休み	
生乳検査場	10:00まで持込	休み	12:00まで持込	休み	12:00まで持込		休み		12:00まで持込	休み		

※1 白老支所一般業務 9:00~17:00 (12:30~13:30昼休み)

※2 白老・追分支所金融共済業務 (12:30~13:30昼休み)

※3 白老支所資材業務 (12:30~13:30昼休み)

※ATM ホクレンショップ苫小牧店・沼ノ端店 (平日: 9:00~21:00、土日祝: 9:00~17:00)

※ATM ホクレンショップしらかば店 (平日: 9:30~20:00、土日: 9:00~17:00)

※死亡牛に関しては、別途畜産部より周知いたします。

※厚真の融資及び共済窓口のみ、4/26(土) 8:30~12:00営業

職員異動

定年退職 3月31日付

金融共済部 **畑島 武夫** 昭和60年4月1日 旧厚真町農協入組

旧厚真町農協: 菜園芸課係、同課調査役、営農部営農相談課係長、同部考査役、営農部農産課長、販売部長

JA合併後: 販売部長、内部監査室室長、農産部長、営農販売部長、企画管理部長、金融部長、金融共済部長を務め定年退職

畜産部 **木林 茂樹** 昭和61年4月1日 旧早来町農協入組

旧早来町農協: 営農部畜産係、営農生産部生産課畜産係長待遇、生産部畜産課畜産係長、同部課長補佐、営農生産部畜産課長、管理部総務管理課長、管理部金融共済課長

JA合併後: 早来支所酪農畜産課長、畜産事業部酪農畜産課長、同部畜産課長、畜産部畜産課長、白老支所長、畜産部長

購買部 **三上 仁司** 昭和56年4月1日 旧厚真町農協入組

旧厚真町農協: 経済部生産資材課係、上厚真支所購買係、同支所経済係、経済部生産資材課燃料係、経済部機械燃料課燃料係、同課調査役及び係長、販売部菜園芸課考査役

JA合併後: 厚真支所販売課菜園芸課係長、経済部生産資材追分店課長、追分支所資材燃料課長、早来支所資材燃料課長、経済部生産資材課長、購買部生産資材課長

購買部 **高橋 久** 昭和55年12月1日 旧厚真町農協入組

旧厚真町農協: 経済部農機車両整備課係、同部生産資材課車両整備係、経済部機械燃料課車両整備係、同部調査役

JA合併後: 経済部機械燃料課厚真農機車両センター農業機械主任、同部調査役、購買部機械燃料課厚真農機車両センター調査役

白老支所 **伊藤 史康** 平成2年2月1日 旧白老町農協入組

旧白老町農協: 管理部金融共済係、同部係長

JA合併後: 白老支所管理金融課係長、同支所金融共済課係長、早来支所金融共済課係長、苫小牧支所総合渉外課係長、共済部自動車事故センター係長、白老支所金融共済課長、同支所生産課長、苫小牧支所総合渉外課考査役及び課長、同支所金融課長及び共済考査役、白老支所金融共済課考査役

理事会報告

令和7年3月17日(月)に総合営農センターで第3回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



1. 一般報告と当面する諸行事について
2. 2月末財務報告について
3. 組合員の異動について
4. 会計監査人の再選任について
5. 会計監査人の報酬等に関する同意書について
6. 決算監事監査報告について
7. 令和6年度事業の監査報告書について
8. 令和7年度監事監査方針と監事監査計画について
9. みのり監査法人の監査報告書について
10. 第1回経営指導委員会の結果報告について
11. 組合として対処し解決すべき重要な課題及びそれへの対応方針について
12. JAバンク基本方針の変更について
13. 令和6年度JAとまこまい広域共励会の選考結果について
14. 令和6年度食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立に関する組織討議について
15. 酪農・畜産対策に係る組織討議について
16. 第24回職員研修大会の開催について



1. 組合員との対話運動について



- 議案第 1 号 令和6年度決算関係書類について
- 議案第 2 号 総代会に係る決議権行使書面の内容について
- 議案第 3 号 役員賠償責任保険契約の締結について
- 議案第 4 号 信用担当事務の事務引継に係る立会人指名について
- 議案第 5 号 職員就業規則の変更について
- 議案第 6 号 不良債権の処理方針について
- 議案第 7 号 要対策組合員の営農計画書の承認について
- 議案第 8 号 理事に対するクミカン供給の承認について
- 議案第 9 号 役員との利益相反取引の開示内容について
- 議案第 10 号 出資の減口と譲渡について

さんさん あぐり講座

胆振農業改良普及センター東胆振支所

トマトキバガによるトマト被害が 全道各地で発生しています！

令和7年についても葉の食害に注視し、
見つけたら速やかに防除を！

侵入警戒有害動植物の一種であるトマトキバガについては、道内では令和5年に初めて飛来が確認され、令和6年も全道各地で飛来を認めており、各地のハウス栽培トマトで葉や果実の食害が確認されました。令和7年も発生に注意してください。



写真1 トマト葉の食痕

写真2 食痕と幼虫

写真3 果実の食害痕

本種は増殖力が強い害虫です。ハウス内の観察に努め、葉に特徴的な被害(幼虫は数mm程度、葉や果実に穿孔侵入、葉の被害は薄皮を残した大ぶりの袋状潜葉痕、糞が端に蓄積、幼虫は潜葉痕から脱出後に生長点付近を加害)を認めたら、速やかに薬剤防除を開始してください。



写真4 幼虫(目盛1mm)

写真5 成虫

主な寄主植物 トマト、ナス、ピーマン、ばれいしょ等のナス科やマメ科のインゲンマメ等でも被害が確認されています。

防除対策

(下表参照 登録は令和7年2月12日現在)

- 1 薬剤抵抗性の発達防止のため系統が異なる薬剤のローテーション散布。
- 2 被害葉や被害果実は、速やかに土中に深く埋没するなどして死滅させ処分。

農薬の種類	農薬の名称	登録作物		使用時期	希釈倍数 使用方法	IRAC コード
		トマト	ミニトマト			
スピネトラム水和剤	ディアナSC	○	○	前日	2500~5000倍、散布	5
	ラディアントSC	○	○	前日	2500~5000倍、散布	
脂肪酸グリセリド・スピノサド水和剤	ダブルシューターSE	○	○	前日	1000倍、散布	-5
アバメクチン乳剤	アグリメック	○	○	前日	500~1000倍、散布	6
レピメクチン乳剤	アニキ乳剤	○	○	前日	1000倍、散布	
エマメクチン安息香酸塩乳剤	アフアム乳剤	○	○	前日	2000倍、散布	
	エスマルクDF	○	○	前日	1000倍、散布	
BT水和剤	サブリーナフロアブル	○	○	前日	(野菜類)1000倍、散布	11A
	ゼンターリ顆粒水和剤	○	○	前日	1000倍、散布	
	チューンアップ顆粒水和剤	○	○	前日	2000倍、散布	
	クワダフロアブル	○	○	前日	2000倍、散布	
クワダフロアブル	トルネードエースDF	○	○	前日	2000倍、散布	13
インドキサカルブ水和剤	ファイントリムDF	○	○	前日	2000倍、散布	22A
メタフルミゾン水和剤	アクセルフロアブル	○	○	前日	1000倍、散布	22B
		○	○	前日	2000倍、散布	
クロラントリニプロール水和剤	プレバソフロアブル5	○	○	育苗期後半~定植当日	100倍、灌注、1株当り25mL	28
	ベネビアOD	○	○	前日	2000倍、散布	
シアントラニプロール水和剤	ベリマークSC	○	○	育苗期後半~定植当日	400株当り25mL、灌注、希釈水量400株当り10~20L(1株当り25~50mL)	28
	プリロッソ顆粒オメガ	○	○	育苗期後半~定植時	2g/株、株元散布	
テトラニプロール水和剤	ヨーバルフロアブル	○	○	前日	2500倍、散布	30
フルベンジアミド水和剤	フェニックス顆粒水和剤	○	○	前日	2000倍、散布	
フルキサメタミド乳剤	グレーシア乳剤	○	○	前日	2000倍、散布	
ピリダリル水和剤	プレオフロアブル	○	○	前日	1000倍、散布	

ワンポイント営農情報

ホクレンRTKシステム



とまこまい広域内 利用状況 ID数 117ID ※2025.3.31時点

- 人工衛星からの信号の他に、地上にある基地局(JA設置受信アンテナ)からの補正信号を受信する事で、誤差±2~3cmで正確な軌跡をたどります。(携帯電波受信できるエリア)

詳しくは、各支所営農担当者にお気軽にお電話ください。

シリーズNo.57 おいしい米づくり

~適正苗の移植から始まる高温登熟対策~

近年、5月の高温化が見られ、ハウス内での葉数の進みが早く、従来の育苗日数では『老化苗』の域に達してから移植となる場合が見られます。

◎適正な育苗日数の目安

育苗様式	育苗日数目安	育苗様式	育苗日数目安
稚苗マット	は種後20~25日まで (目標葉数2.0葉)	高密度播種短期育苗 ※高密短育苗	は種後15日前後 (目標葉数1.5葉、草丈15cm)
慣行中苗マット	は種後30日以内が望ましい (目標葉数3.1葉)	高密度播種中苗 ※密播中苗	は種後25~30日 (目標葉数2.6~3.0葉)
成苗ポット	は種後30~35日以内が望ましい (目標葉数3.6葉)		

注) 高密短、稚苗、密播中苗は、目標葉数に達したら速やかに移植できるよう準備する。

注) 慣行中苗・成苗ポットでは、2.5葉期以降ハウス内温度は25℃上限管理を实践

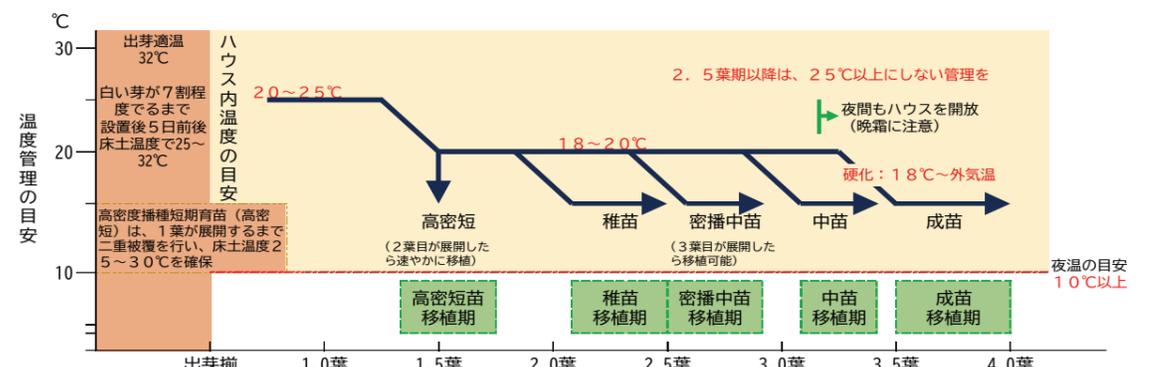


図 出芽から移植までの温度管理の目安

第6回「東野ひでき北海道後援会の活動経過」について

過去の参議院選挙(比例代表)での危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが大切です。

北海道後援会では、JA役職員、組合員、青年部・女性部盟友、各連合会・関係機関など東野ひでき氏の応援の輪を広げていくために、農政学習会等を通じて「なかまづくり運動」を展開してきました。

「ひできのなかまづくり運動」

「ひ」…ひとりでも多く! 「で」…できることから! 「き」…きょうから始めよう!

各々が、応援を依頼する「なかま」を確実に2名以上特定し、さらに、その「なかま」1名につき、新たに2名以上の「なかま」を特定し、「なかま」を広げていきましょう。

令和6年3月29日に東野ひでき北海道後援会を設立して以降、主に以下の取り組みを実施しております。

- JA総会・総代会にて東野の動画映写や組織結集に向けた決議等を実施。
- JA・連合会にて推薦手続きを完了。
- 道連常勤役員・地区会長他によるJA等巡回。
- 東野による全国連・全国機関、都府県連合会・JA等巡回を実施。
- 東野による道内各連合会、関係機関、取引先、JA等巡回(励ます会)を実施。
- 農政学習会の実施。
- 各種資材の活用。
(農政学習教材(資料・動画)、東野ひでき紹介動画、室内掲示用ポスター、リーフレット、運動推進ステッカー、名刺貼付用シールなど)
- JA広報誌での連載と北海道農政ジャーナルの発行。
- SNS(HP、LINE、Instagram、YouTube、Facebook)による活動報告。
- 青年部・女性部による東野ひでき親衛隊「動画大作戦」の実施。(毎月1回YouTube配信)



今後は、上記の取り組みに加え、屋外用政治活動用ポスターの掲示(野立て看板の設置)、東野出席のもと道内12地区の巡回等や、青年・女性組織の道・地区・単組段階での推薦手続き等を実施していきます。

農業・JAを取り巻く厳しい状況下において、JAグループ北海道の政策提案を実現し、組合員の営農と生活を守るためには政治力の強化が極めて重要であります。

農政学習運動等を通じて組織選挙の意義を共有し、引き続き「なかまづくり運動」を広げていきましょう!

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年まで連載いたします。次回(第7回)は、「業界を代表する候補者を選ぶことの重要性」について報告します。

東野ひでき公式LINEアカウントへの登録はこちら



東野ひでき北海道後援会

JA 資格試験合格発表

初級試験合格者 穴水 麻衣 北村 太一 逢坂 聖慈 根本 峰澄 佐々木 愛果
石塚 仁絵 三浦 凌 青木 美古都

中級試験合格者 赤平 舞緒 大島 星 文字 玲雄 堀之内 秀斗 南部 優斗

上級試験合格者 中塚 健太

内部監査士合格者 笠原 幸司 永嶋 直美

JA 日誌

2025 4月

- 16日(水) ホクレン肉牛市場、広域年金友の会総会、JA共済連運営委員会、胆振東部一次産業意見交換会
- 17日(木) 第3回企画会議、支所長セミナー
- 18日(金) ホクレン乳牛市場、胆振東部危険物安全協会総会
- 19日(土)
- 20日(日)
- 21日(月) ホクレン新人研修受入～5/2、農産担当職員道外研修(～23)
- 22日(火) 本所固定資産確認
- 23日(水) 信用事業優績JA表彰
- 24日(木) 職員研修大会、厚生連理事会
- 25日(金) 経営会議
- 26日(土)
- 27日(日)
- 28日(月)
- 29日(火) 昭和の日(祝)
- 30日(水)

2025 5月

- 1日(木)
- 2日(金)
- 3日(土) 憲法記念日(祝)
- 4日(日) みどりの日(祝)
- 5日(月) こどもの日(祝)
- 6日(火) 振替休日
- 7日(水)
- 8日(木) 日本農業新聞全国大会
- 9日(金) 第5回理事会、第2回地区担当理事会議
- 10日(土)
- 11日(日)
- 12日(月) 日胆地区常参会(札幌)
- 13日(火)
- 14日(水)
- 15日(木) ホクレン肉牛市場

(株)農協観光北海道!! アンケートに答えて道内温泉ペア宿泊券を抽選にてプレゼント

第30回JA全国大会で決議された組合員との接点(つながり)づくりに貢献できる取組として、今後のJA仲間づくりに寄与し、より良い観光やイベントなどを提供させて頂くため、皆様からいただいたご意見を参考にさせていただきます。ご協力よろしくおねがいいたします。

アンケートにご協力いただいた方から抽選にて限定3組に道内温泉ペア宿泊券を贈呈致します。

※抽選時期 令和7年5月末日 当選者にはメールにて当選案内と致します。

※ご不明な点がございましたら、(株)農協観光北海道支店へお問い合わせ下さい。



お悔やみ 謹んでご冥福をお祈りいたします。

月日	地区	氏名	享年
3/7	厚真町	中田 典子さん	72
3/9	安平町	土田 和衛さん	93

ホクレン南北海道黒毛和種市場 広域農協支所別取引成績(4月)

令和7年3月12日

	性別	成立頭数(頭)	価格平均(円)	平均日齢/体重(kg)	平均kg/単価(円)
白老	去勢	25	669,160	1.12	1,995
	雌	10	503,100	1.086	1,614
苫小牧	去勢				
	雌				
早来	去勢	30	594,200	1.058	1,799
	雌	16	515,625	1.073	1,653
厚真	去勢	19	684,474	1.182	1,995
	雌	20	546,900	1.033	1,734
穂別	去勢	22	689,455	1.161	2,082
	雌	19	563,789	1.093	1,739
追分	去勢	9	754,111	1.234	2,078
	雌	3	550,667	1.029	1,813
とまごまい広域	去勢	105	662,048	1.13	1,966
	雌	68	537,985	1.066	1,702
胆振管内	去勢	191	677,115	1.137	2,002
	雌	133	540,023	1.029	1,727
市場計	去勢	779	653,836	1.121	1,967
	雌	634	525,740	1.013	1,688